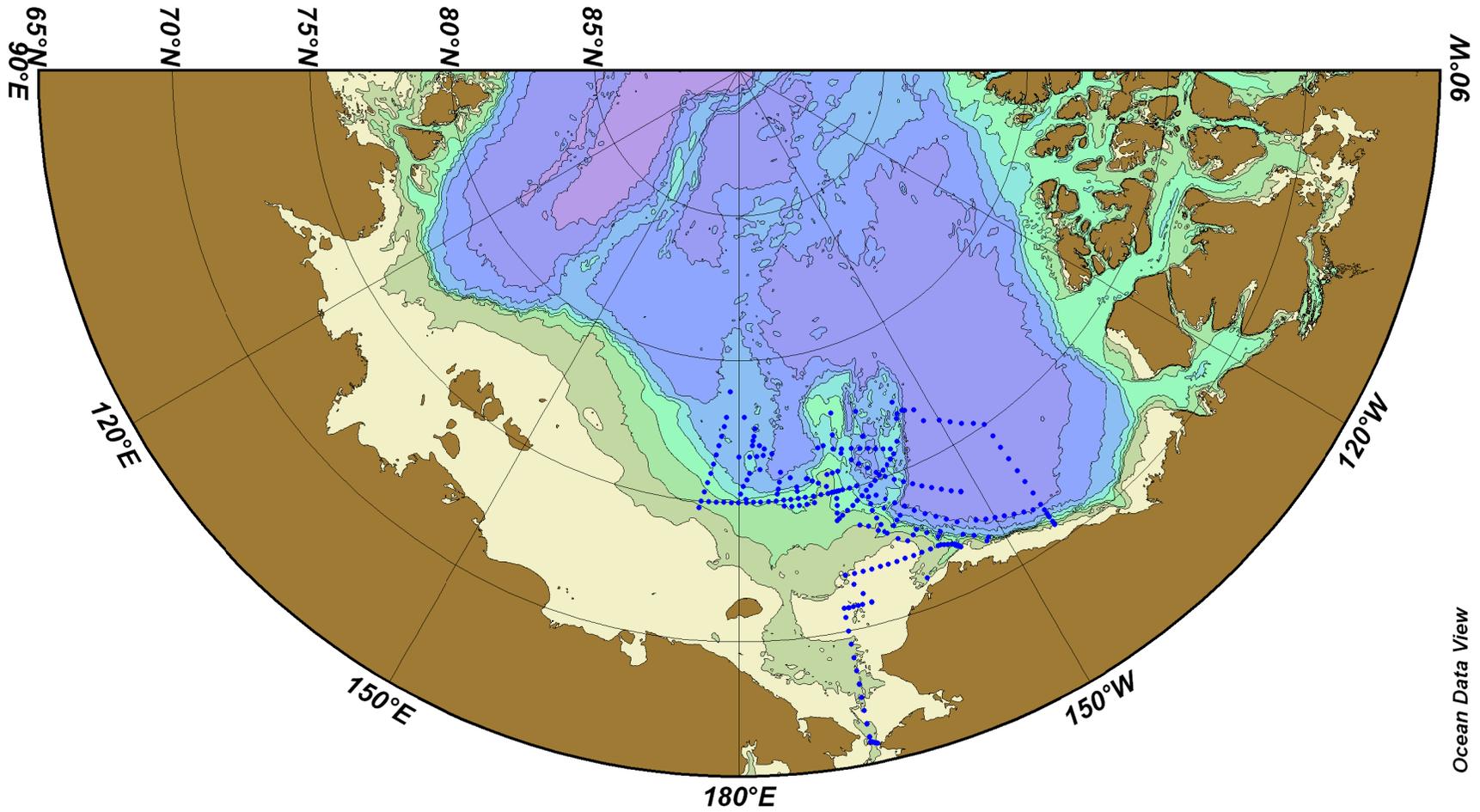
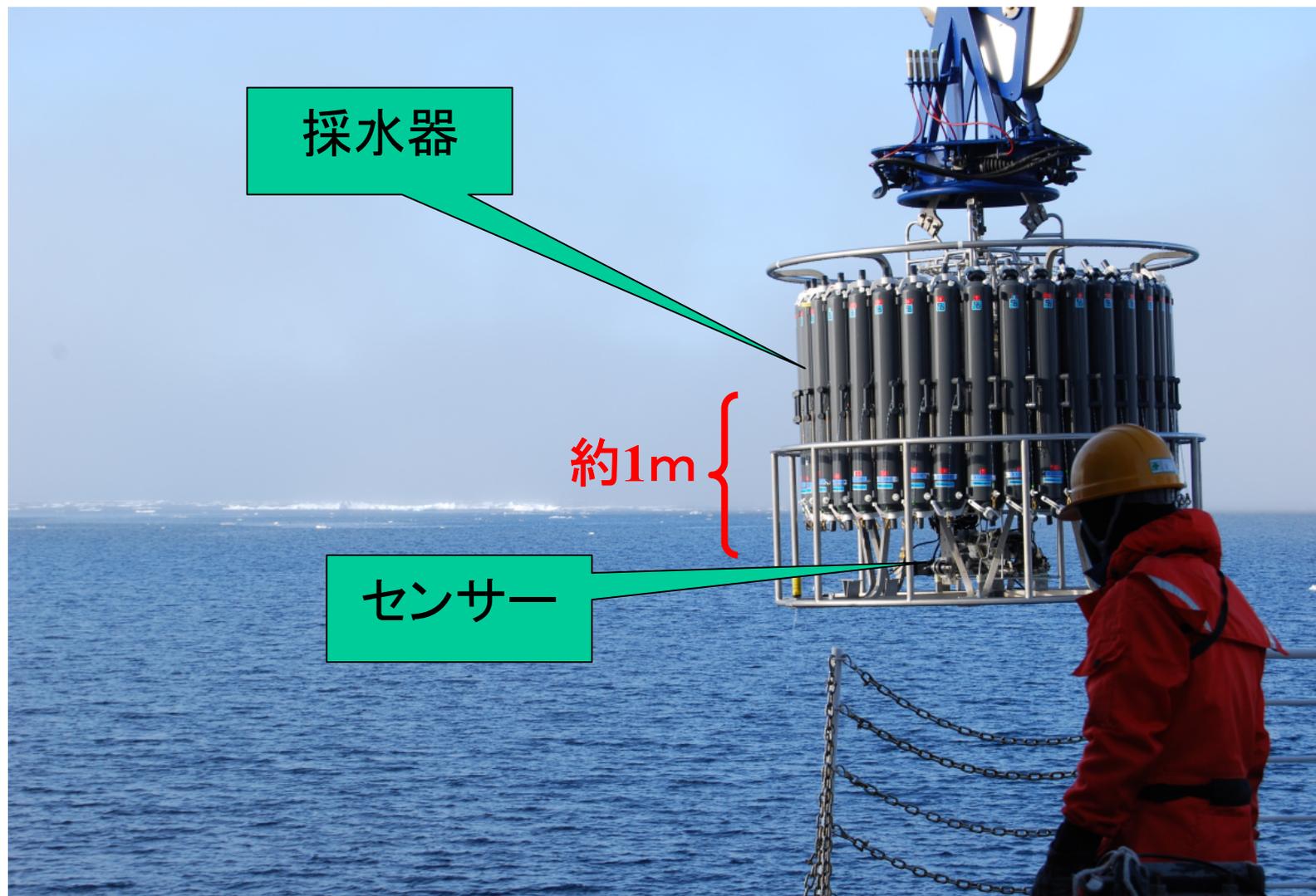




みらい2008年・国際極年北極航海CTD観測点





仮に0.002の精度を目標とすれば、検定に使う深度(圧力)での塩分の変化率が2PSU/km (0.002/m)未満でなければならない。水深500mで塩分変化率は、0.25PSU/km (0.00025PSU/m)程度。800m以深であれば、0.1PSU/km未満となっている。この場合、採水器で採取する水とセンサーで捉える水の真の塩分の違いは、0.0001PSU程度になる。目標精度の1/10程度以下の変化しかないところのデータを使うのが常套手段。

